

11 接着用語集

弾性シーリング材 硬化後にゴム状弾性を有するシーリング材。

単板 木材を0.2~6mm前後のうすい板にしたもの。

弾力性接着剤 硬化後に弾力性のある接着剤層を作り、接着面でははく離や温度による膨張、収縮のズレに対し強度を高めた接着剤。

チップボード パーティクルボードと同種。

突き合わせつぎ 被着材の端面をそのまま突き合わせて接着すること。一般的に十分な接着強さが得られないことが多い。

つき板 銘木を0.2~0.3mmのうすい片にそいだもので、建材用の合板や家具の前板などに接着剤ではり付けられる。

ドープセメント 熱可塑性プラスチックを溶剤に溶かした接着剤。溶着型の接着剤のこと。

ドライラミネート 箔と紙の接着の場合に、接着剤を塗布し、乾燥後に熱で圧着する方法。

【な行】

乳化重合 水中に乳化剤や界面活性剤を溶解し、重合開始剤を加えながら、単量体またはその混合物を所定の温度で反応させる重合方法をいう。

ぬれ 固体と液体(接着剤)との親和性であって、両者の間の接触角が小さく、固体面が液体でぬれることが接着の条件となる。

熱圧(ホットプレス) 被着材を熱盤で加熱圧縮すること。

熱可塑性 加熱すると柔軟になり、冷却すると硬化することを繰り返せる性質。

→熱可塑性樹脂(例. 酢酸ビニル樹脂)

熱硬化性 熱により化学反応して架橋し、網目構造が高まり、硬化する性質。

→熱硬化性樹脂(例. エポキシ樹脂)

粘着性(タック) 物質の接着表面に生じるネバツキ。

粘度 流体のせん断応力とせん断速度の比をいう。せん断応力がせん断速度に比例する物質をニュートン流体といい、せん断応力の増減がせん断速度の増減に伴わないものを非ニュートン流体という。[単位: Pa·s]

ノンソーイング 衣服を縫わないで接着剤により仕立てること。

【は行】

バインダー 粒状、粉末状、繊維状物を固める結合媒体。

パーティクルボード 木材を小片(チップ)とし、接着剤で熱圧して固めた板状材料。(チップボード)

ハードボード 木質繊維をほぐし、接着剤を混ぜて高圧高温でプレスしてつくった硬質繊維板。中密度のものをM.D.F.ともいう。

はく離接着強さ 接着面の一端にはく離応力を加え、はく離したときの強度。

引き裂き接着強さ 接着面の一端に応力を集中させて、接合部を破壊したときの強さ。割裂接着強さのこと。

引張りせん断接着強さ 接着面が、引張りせん断方向の荷重によって破壊したときの強さ。

ヒートシール 接着剤の塗布面を間接的にアイロンなどの熱で溶かして他面に接着すること。接着剤を使用せず同質の熱可塑性樹脂シート同士を熱融着する方法もいう。

フィンガージョイント 木材の木口をジグザグ形に切削し、端面を接合する方法。

フォードカップ粘度 フォードカップで測定した粘度。一定体積のカップ底面の穴から塗料や接着剤が流れ出す秒数で表す。数字が大きい程粘度が高い。主として低粘度の製品に用いられる。

不織布 繊維を織らずに、接着剤や部分溶着または機械的にかみ合わせて作った布状物。ノンウブンのこと。

プライマー 接着性能を向上させるために、接着剤塗布前にあらかじめ被着材の表面に塗布する下地処理用の液状物質。

プラスチックゾル 粉末状樹脂を可塑剤に分散させたゾル状のペーストで、通常充てん材、安定剤、顔料などの配合剤を含む。これにさらに有機溶剤を加えたものをオルガノゾルという。主として塩化ビニル樹脂が使用される。

フラッシュパネル サンドイッチ構造の一種で周囲および芯に幅の狭い板を使い、両面に合板を接着した中空構造板。軽量パネルのこと。

ブロッキング 塗布後硬化した接着剤同士が接触したときに生じる好ましくない密着をいう。この現象は貯蔵または使用中、熱や圧力が加わると起こりやすい。

平衡含水率 一定の温度、湿度の空気中において材質中の水分量がその雰囲気中で平衡に達した状態における含水率。

閉鎖堆積時間 合板製品工程において、接着剤を塗布した半板を密着させてから加圧するまでの時間。

pH(水素イオン濃度) 水溶液に含まれる水素イオンの濃度を表す指数のことで、酸性とアルカリ性の程度を表す値。中性は7。7以下が酸性、7以上がアルカリ性。0から14までである。

ホットメルト 常温では固形のものを加熱溶融させて塗布し、冷却によって固着する接着剤。専用のアプリケーションを必要とする。

ポリマー モノマーが重合したもので、高分子全体を指す言葉。

【ま行】

曲げ接着強さ 接着面が曲げ応力によって、破壊したときの強さをいう。

マスチックス 高粘度で垂れ下がりのないペースト状の接着剤やシール材。

無線綴 製本する場合に糸がかりや針金止めをせず、接着剤のみで固めて製本する方法。

木レンガ 壁面に胴ぶちを固着するとき、コンクリート面にレンガ状の木のブロックを接着し、それに胴ぶちを釘止めする。その際使用する木のブロックをいう。

モジュラス ゴム弾性を有する材料の物理試験においてダンベル状の試験片に特定の伸びを与えた時の引張応力をいう。(例.100%モジュラス(M100))

モノマー(単量体) 高分子物質を生成する場合に、重合反応によって重合体を生成する元となる低分子の単位液状物質をいう。モノマーが重合してポリマーとなる。

【や行】

溶液重合 単量体を適当な溶媒に溶かし、それに反応開始剤を使用して行う重合反応。

養生 圧縮終了後、接着強さが発現するまで放置すること。

【ら行】

ライニング 金属やコンクリートの表面を保護するため、その表面に他の物質を比較的厚く被覆することをいう。

ラテックス 天然ゴムあるいは合成ゴムの水性乳濁液。

ラミネート 1種あるいは2種以上の材料の薄板、シート、フィルムなどを2枚以上重ね合わせて接着すること。

冷圧 接着剤の硬化に熱を加えず、常温における圧力のみで接着すること。コールドプレスのこと。

劣化 接着剤や被着材などの高分子物質が貯蔵中や使用中に物理的あるいは化学的変化により性質が低下したりもろくなること。

老化 接着層や被着材料などが時間の経過とともに劣化すること。

参考図書

- 「接着ハンドブック」日本接着協会編 日刊工業新聞社
- 「接着剤データブック」日本接着学会編 日刊工業新聞社
- 「JISハンドブック接着2001」日本規格協会ほか
- 「JIS接着と接着剤選択のポイント」日本規格協会
- 「接着便覧」年刊 高分子刊行会
- 「接着剤カタログ集」年刊 高分子刊行会
- 「接着」朝倉書店
- 「木工」朝倉書店
- 「接着技術の実際」沖津 俊直 オーム社
- 「接着剤の実際知識」沖津 俊直 東洋経済新報社
- 「接着の化学」井本 稔・黄慶雲 岩波書店
- 「接着百科(上)(下)」芝崎 一郎 高分子刊行会
- 「接着管理(上)(下)」若林 一民 高分子刊行会
- 「粘着技術」福沢 敬司 高分子刊行会
- 「ホットメルト接着の実際」深田 寛 高分子刊行会
- 「わかりやすいエポキシ樹脂」宗井 宗一 工文社
- 「接着剤読本」日本接着剤工業会
- 「シーリング材ハンドブック」日本シーリング材工業会
- 「接着用語辞典」日本接着学会編 日刊工業新聞社
- 「接着の技術」雑誌(季刊) 日本接着学会
- 「日本接着学会誌」雑誌(月刊) 日本接着学会
- 「接着」雑誌(月刊) 高分子刊行会

以上のほかに多くの専門図書や文献が刊行されていますので、必要に応じてご利用ください。

この冊子は、信頼し得ると考えられる資料に基づいて作成しておりますが、ごく一般的な事項について触れているにすぎません。
実際のご使用にあたっては、種々の条件その他も充分配慮の上、ご利用くださるよう、おねがいいたします。